

事後評価書（期中の評価）

都道府県名	三重県	関係市町村	-	期中評価実施の理由	④
事業名	水産資源環境整備事業（水産環境整備事業）				
地区名	三重保全二期	事業主体	三重県		

I 基本事項

1. 地区概要					
漁港名（種別）	-		漁場名	三重	
陸揚金額	20,327	百万円	陸揚量	64,919	トン
登録漁船隻数	5,030	隻	利用漁船隻数	-	隻
主な漁業種類	小型底ひき網、刺し網、採貝、採藻		主な魚種	いせえび、あわび、さざえ、あさり	
漁業経営体数	2,286	経営体	組合員数	11,169 人	
地区の特徴	<p>南北に長い海岸線を有する本県において、北は四日市市、南は紀宝町までを事業地区の対象とする。海域の特性としては、閉鎖性水域であり比較的なだらかな沿岸線を有し、遠浅な砂浜域が広がる伊勢湾海域、同じく閉鎖性水域でありリアス海岸を有する英虞湾海域、そして外海域に面しており岩礁帯を有する鳥羽・志摩地域及び熊野灘海域を対象として事業を展開する。</p> <p>伊勢湾海域では、アサリ、シジミ、ハマグリなどの二枚貝を対象とする採貝漁業、アナゴ、シャコエビ、カレイ等の底魚類を対象とする小型機船底引き網漁業、イワシなどの浮魚類を対象とする機船船曳網漁業・バッチ網漁業が営まれている。</p> <p>英虞湾は伊勢湾よりも小規模な湾であり、湾口の水深が12mと浅く、湾の内外で海水交換がされにくい特徴がある。英虞湾海域では、真珠や青のりの養殖が盛んであり、特に真珠は養殖発祥の地であり、県を代表する水産物の一つとなっている。</p> <p>鳥羽・志摩地域および熊野灘海域では、海女漁業、刺し網漁業などにより、イセエビ、アワビ、サザエ、ヒジキなどが漁獲されている。さらに熊野灘海域では、黒潮の影響を強く受けるため、一本釣、ひき縄、定置網、まき網漁業、などによるカツオ、アジ、サバ、イワシ、ブリなどの回遊魚の漁獲も行われている。</p>				
2. 事業概要					
事業目的	<p>伊勢湾では、アサリの生産力向上を目的とした干潟造成、底質改善（作漥、海底耕耘）を実施する。</p> <p>英虞湾では、赤潮、貧酸素水塊の抑制等を目的とした底質改善（浚渫）を実施する。</p> <p>鳥羽、志摩、熊野灘海域沿岸では、藻場造成（着定基質）を実施することにより、沿岸域を生息の場とする魚介類の産卵・育成場を確保し、漁場環境の維持・改善を図る。</p>				
主要工事計画	藻場造成（着定基質）17.56ha、干潟造成3.4ha、底質改善（浚渫）10.5ha、底質改善（海底耕耘）200ha、作漥6.1ha				
事業費	6,609	百万円	事業期間	平成24年度～令和7年度	
既投資事業費	-		事業進捗率（%）	99%	

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化			
	直前の評価	今回の評価	
総費用（千円）	7,919,512	10,935,697	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり
総便益（千円）	9,653,693	11,223,389	
費用便益比(B/C)	1.22	1.03	
総費用の変更の理由			
デフレーターを乗じることにより増額となった。			
便益算定項目について変更がある場合はその項目と変更の理由			
特になし。			
その他費用対効果分析に係る要因の変化			
魚価の上昇及び現在価値化による水質浄化効果費用の増額があった。			
2. 漁業情勢、社会経済情勢の変化			
(1) 漁業情勢及び漁港施設、漁場施設等の利用状況と将来見通し			
計画策定後の漁業集落に関わる社会経済状況、自然状況の当初想定との相違と将来見通し			
<p>高齢化等により漁業就業者数や漁業経営体数は減少傾向にある。</p> <p>鳥羽・志摩及び熊野灘海域では、2017年から発生した黒潮の大蛇行により海水温が上昇し、植食性魚類の摂餌行動が活発化するなどの要因により、海中林（アラメ・カジメ場）を中心とした藻場の衰退が確認されている。しかし、過去の黒潮大蛇行の発生状況から、一定期間を経て大蛇行は終息するものと考えられるため、その際には、ある程度の藻場の回復が見込まれる。</p> <p>伊勢湾海域では、本事業の発足時（平成24年）に比べ、赤潮の発生件数が減少傾向にあるものの、貧酸素水塊面積の増加傾向や栄養塩（全りん、全窒素）の減少傾向が確認されている。アサリを対象とした採貝漁業は未だ低水準ではあるが、一部地域で漁獲されるようになっており、本事業発足時から進展がみられる。</p>			
漁業形態、流通形態について当初想定との相違と将来見通し			
<p>漁業従事者の高齢化に加え、昨今発生した黒潮の大蛇行等による海洋環境の変化もあり、沿岸かつお一本釣り、ひき縄漁を除き、ほぼすべての漁業で縮小傾向にある。しかし、過去の黒潮大蛇行の発生状況から、一定期間を経て大蛇行は解消するものと考えられるため、その際には、これまでに縮小傾向にあった漁業は回復するものと見込む。</p>			
漁港施設等の利用状況について当初想定との相違と将来見通し			
<p>高齢化等により漁業就業者数や漁業経営体数は減少傾向にあるため、漁港施設利用者も同様に減少傾向である。しかし、沿岸地域での漁場整備により、近傍の漁場の維持、改善が進むことで、近隣の漁港の利用状況はある程度維持されるものと見込んでいる。</p>			
(2) その他社会情勢の変化			
特になし。			

3. 事業の進捗状況	
	事業の進捗は、モニタリング調査（水産業を育む水産環境保全・創造事業基本計画）を残すのみであり、進捗率は99%である。
4. 関連事業の進捗状況	
	特になし。
5. 地元（受益者、地方公共団体等）の意向	
	伊勢湾、英虞湾の浅海域や鳥羽・志摩地域及び熊野灘海域沿岸で展開される船びき網、小型機船底引き網、刺し網、採貝、採藻漁業の全てにおいて、近年は漁獲量が低調な状態が続いており、地元漁業者から漁場環境の回復を望む声は強い。
6. 事業コスト縮減等の可能性	
	干潟造成において、近隣の河川等から浚渫土砂を入手することによりコスト縮減を図る。
7. 代替案の実現可能性	
	干潟造成、藻場造成、底質改善（浚渫、作濡、海底耕耘）は対象魚種等に対する効果の発現に対して直接的な手法であり、代替する手法は見当たらない。

Ⅲ 総合評価

<p>本地区は、伊勢湾、英虞湾の浅海域や伊勢湾口から熊野灘沿岸地域に広がる大型海藻の繁茂する優良な漁場が点在する中、昨今は干潟域におけるアサリ資源の激減や英虞湾内の水質の悪化、藻場の磯焼けが広がりつつあり、漁場機能の低下が危ぶまれている。</p> <p>このような状況を鑑みて、藻場造成（着定基質：17.56ha）及び干潟造成（3.4ha）の実施により漁場環境の改善を図るとともに、浚渫（10.5ha）、海底耕耘（200ha）及び作濡（6.1ha）を実施することによって漁場機能の保全に寄与するものである。費用便益比率は1を超えており、事業の必要性及び経済性は高いと認められることから、近年の海洋環境の変化等を踏まえ、モニタリング期間の増加等見込んだ事業内容に計画を変更の上、事業の継続は妥当であると判断される。</p>
--

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	三重	地区名	三重保全二期
事業名	水産環境整備事業	施設の耐用年数	30年

2 評価項目

便益の評価項目及び便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果			634,440	千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果		千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果	188,716	千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果	10,400,233	千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	11,223,389	千円
総費用額（現在価値化）		C	10,935,697	千円
費用便益比		B / C	1.03	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

・藻場造成によって藻場が再生・創出されることにより、海女漁業等の漁業文化や里海文化が維持され、観光資源等への波及効果が期待できる。
 ・干潟造成によって母貝場としての干潟が創出されることにより、周辺海域へ稚貝の供給が行われる。これによるアサリ資源の増大効果が期待できる。

●事業内容

- ・ 主要事業計画： 藻場造成（着定基質）17.56ha、干潟造成 3.4ha
底質改善（浚渫）10.5ha、底質改善（海底耕耘）200ha、作濤 6.1ha
- ・ 事業費： 6,609百万円
- ・ 事業主体： 三重県
- ・ 事業期間： H24~R3



干潟造成(伊勢湾三期工区)3.4ha

作濤(伊勢湾三期工区)6.1ha

底質改善(海底耕耘)(伊勢湾三期工区)200ha

底質改善(浚渫)(英虞湾二期工区)10.5ha

藻場造成(礪浦工区)1.0ha

藻場造成(奈屋浦工区)1.0ha

藻場造成(古和浦工区)1.0ha

藻場造成(鳥羽磯部工区)2.0ha

藻場造成(甲賀工区)0.94ha

藻場造成(和具工区)2.00ha

藻場造成(宿浦工区)1.0ha

藻場造成(紀伊長島工区)3.13ha

藻場造成(尾鷲工区)1.79ha

藻場造成(熊野工区)1.71ha

藻場造成(紀南工区)1.99ha



三重保全二期地区

三重保全二期地区 水産環境整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的 : 伊勢湾では、底質の泥化・硬化や集中豪雨による河川からの出水の影響等により、アサリ資源が減少しているため、アサリの生産力向上を目的とした干潟造成、底質改善（作濎、海底耕耘）を実施する。
英虞湾では、潮汐や外洋水の流入による海水交換が十分に行われにくい地形によって、水質や底質の悪化による有害な赤潮が発生しており、真珠養殖やアオノリ養殖に甚大な被害が生じている。このため、赤潮発生原因の一つである底質の状態を改善（浚渫）することにより漁場環境の改善を図る。
鳥羽、志摩、熊野灘海域沿岸では、藻場造成（着定基質）を実施することにより、沿岸域を生息の場とする魚介類の産卵・育成場を確保し、漁場環境の維持・改善を図る。
- (2) 主要工事計画 : 藻場造成（着定基質）17.56ha、干潟造成 3.4ha、底質改善（浚渫）10.5ha、底質改善（海底耕耘）200ha、作濎 6.1ha
- (3) 事業費 : 6,609.2 百万円
- (4) 工期 : 平成24年度～令和3年度（モニタリング実施期間 平成26年度～令和7年度）

2. 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（令和6年6月改定 水産庁）及び同「参考資料」（令和6年6月 水産庁）等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	10,935,697（千円）
総便益額（現在価値化）	②	11,223,389（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.03

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
藻場造成（着定基質）	17.56ha	3,846,597
干潟造成	3.4ha	238,422
底質改善（浚渫）	10.5ha	2,139,738
底質改善（海底耕耘）	200ha	15,814
作濎	6.1ha	368,587
計		6,609,158
維持管理費等		0
総費用（消費税込）		6,609,158
内、消費税額		497,603
総費用（消費税抜）		6,111,555
現在価値化後の総費用		10,935,697

(3) 年間標準便益

区分 効果項目	年間標準便益額 (千円)	効果の要因
漁獲可能資源の維持・培養効果	24,290	・生産量の増加効果
漁業外産業への効果	7,238	・出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果
自然環境保全・修復効果	721,244	・水質浄化効果
計	752,772	

(4) 総便益算出表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレ レータ ②	費用 (千円)			便益 (千円)				割引後 効果額合計 (千円) ①×④
				事業費 (維持管理費含 む) ③	事業費 (税抜) ③	現在価値 (維持管理費含む) ①×②×③	漁獲可能資源の 維持・培養効果	漁業外産業への 効果	自然環境保全・ 修復効果	計 ④	
-12	H24	1.601	1.455	302,105	287,719	670,228	0	0	0	0	0
-11	H25	1.539	1.460	636,948	606,617	1,363,032	1,697	598	1,196,384	1,198,679	1,844,767
-10	H26	1.480	1.397	662,094	613,050	1,267,518	3,652	1,108	659,080	663,840	982,483
-9	H27	1.423	1.373	738,914	684,180	1,336,737	6,254	1,935	379,468	387,657	551,636
-8	H28	1.369	1.373	1,116,243	1,033,558	1,942,714	9,783	3,104	629,355	642,242	879,229
-7	H29	1.316	1.337	524,710	485,843	854,837	14,776	4,416	653,579	672,771	885,367
-6	H30	1.265	1.295	675,160	625,148	1,024,102	16,117	4,688	596,676	617,481	781,113
-5	R1	1.217	1.260	866,750	787,955	1,208,266	17,399	5,049	634,935	657,383	800,035
-4	R2	1.170	1.241	423,234	384,758	558,657	24,405	5,618	176,288	206,311	241,384
-3	R3	1.000	1.197	544,000	494,545	591,970	25,940	6,402	201,236	233,578	233,578
-2	R4	1.082	1.101	46,000	41,818	49,817	29,241	7,591	236,492	273,324	295,736
-1	R5	1.040	1.000	40,000	36,364	37,819	28,385	7,402	231,405	267,192	277,880
0	R6	1.000	1.000	33,000	30,000	30,000	23,998	7,181	226,429	257,608	257,608
1	R7	0.962	1.000				23,204	6,988	222,040	252,232	242,647
2	R8	0.925	1.000				22,467	6,807	217,782	247,056	228,527
3	R9	0.889	1.000				21,647	6,612	213,589	241,848	215,003
4	R10	0.855	1.000				20,886	6,432	209,635	236,953	202,595
5	R11	0.822	1.000				20,411	6,297	205,934	232,642	191,232
6	R12	0.790	1.000				19,953	6,167	202,346	228,466	180,488
7	R13	0.760	1.000				19,521	6,043	198,984	224,548	170,656
8	R14	0.731	1.000				19,105	5,925	195,731	220,761	161,376
9	R15	0.703	1.000				18,702	5,810	192,591	217,103	152,623
10	R16	0.676	1.000				18,315	5,702	189,564	213,581	144,381
11	R17	0.650	1.000				17,941	5,595	186,646	210,182	136,618
12	R18	0.625	1.000				17,581	5,493	183,845	206,919	129,324
13	R19	0.601	1.000				17,235	5,394	181,151	203,780	122,472
14	R20	0.577	1.000				16,891	5,295	178,459	200,645	115,772
15	R21	0.555	1.000				16,576	5,206	175,995	197,777	109,766
16	R22	0.534	1.000				16,272	5,119	173,640	195,031	104,147
17	R23	0.513	1.000				15,975	5,034	171,284	192,293	98,646
18	R24	0.494	1.000				15,699	4,957	169,155	189,811	93,767
19	R25	0.475	1.000				14,905	4,613	160,017	179,535	85,279
20	R26	0.456	1.000				14,276	4,392	154,450	173,118	78,942
21	R27	0.439	1.000				12,516	3,874	134,967	151,357	66,446
22	R28	0.422	1.000				10,297	3,108	110,322	123,727	52,213
23	R29	0.406	1.000				7,051	2,081	73,629	82,761	33,601
24	R30	0.390	1.000				6,214	1,854	66,471	74,539	29,070
25	R31	0.375	1.000				4,834	1,433	51,243	57,510	21,566
26	R32	0.361	1.000				3,218	1,049	33,404	37,671	13,599
27	R33	0.347	1.000				1,783	600	19,199	21,582	7,489
28	R34	0.333	1.000				804	237	7,090	8,131	2,708
29	R35	0.321	1.000				497	148	4,397	5,042	1,618
30	R36	0.308	1.000				0	0	0	0	0
31	R37	0.296	1.000				0	0	0	0	0
計				6,609,158	6,111,555	10,935,697	616,424	183,357	10,104,887	10,904,667	11,223,389

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 漁獲可能資源の維持・培養効果

主にイセエビ、アワビ類、サザエ、アサリの着底場・生息場となる藻場礁の設置や干潟の造成をすることで、水産生物の餌場、隠れ場・休息場、産卵場を確保し、水産資源の向上を図る。

(i) イセエビの生産量の増加効果 (鳥羽磯部工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 1,120	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 鳥羽磯部工区 : 2.0ha ・生息密度 : 0.056kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 20,000m ² × 0.056kg/m ² = 1,120kg
単価 (円/k g)	② 5,440	「鳥羽磯部漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 33.0	刺網漁業 (3トン未満、3~5トン、5~10トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	2,011	①×②×③/100/1,000

(i) イセエビの生産量の増加効果 (甲賀工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 526	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 甲賀工区 : 0.94ha ・生息密度 : 0.056kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 9,400m ² × 0.056kg/m ² = 526kg
単価 (円/k g)	② 4,842	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 33.0	刺網漁業 (3トン未満、3~5トン、5~10トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	840	①×②×③/100/1,000

(i) イセエビの生産量の増加効果 (和具工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 1,120	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 和具工区 : 2.0ha ・生息密度 : 0.056kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 20,000m ² × 0.056kg/m ² = 1,120kg
単価 (円/k g)	② 4,582	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 33.0	刺網漁業 (3トン未満、3~5トン、5~10トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	1,694	①×②×③/100/1,000

(i) イセエビの生産量の増加効果 (宿浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 560	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 宿浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.056kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.056kg/m ² = 560kg
単価 (円/k g)	② 4,820	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 33.0	刺網漁業 (3トン未満、3~5トン、5~10トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	891	①×②×③/100/1,000

(i)イセエビの生産量の増加効果(礪浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 560	・藻場造成(着定基質)整備面積 礪浦工区:1.0ha ・生息密度:0.056kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:10,000m ² ×0.056kg/m ² =560kg
単価(円/kg)	② 3,705	「三重外湾漁協資料(産地市場単価)より H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 33.0	刺網漁業(3トン未満、3~5トン、5~10トン)漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省)H30~R4より
年間便益額(千円/年)	685	①×②×③/100/1,000

(i)イセエビの生産量の増加効果(奈屋浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 560	・藻場造成(着定基質)整備面積 奈屋浦工区:1.0ha ・生息密度:0.056kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:10,000m ² ×0.056kg/m ² =560kg
単価(円/kg)	② 4,393	「三重外湾漁協資料(産地市場単価)より H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 33.0	刺網漁業(3トン未満、3~5トン、5~10トン)漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省)H30~R4より
年間便益額(千円/年)	812	①×②×③/100/1,000

(i)イセエビの生産量の増加効果(古和浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 560	・藻場造成(着定基質)整備面積 古和浦工区:1.0ha ・生息密度:0.056kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:10,000m ² ×0.056kg/m ² =560kg
単価(円/kg)	② 5,221	「三重外湾漁協資料(産地市場単価)より H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 33.0	刺網漁業(3トン未満、3~5トン、5~10トン)漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省)H30~R4より
年間便益額(千円/年)	965	①×②×③/100/1,000

(i)イセエビの生産量の増加効果(紀伊長島工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 1,753	・藻場造成(着定基質)整備面積 紀伊長島工区:3.13ha ・生息密度:0.056kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:31,300m ² ×0.056kg/m ² =1,753kg
単価(円/kg)	② 5,485	「三重外湾漁協資料(産地市場単価)より H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 33.0	刺網漁業(3トン未満、3~5トン、5~10トン)漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省)H30~R4より
年間便益額(千円/年)	3,173	①×②×③/100/1,000

(i)イセエビの生産量の増加効果(尾鷲工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 1,002	・藻場造成(着定基質)整備面積 尾鷲工区:1.79ha ・生息密度:0.056kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:17,900m ² ×0.056kg/m ² =1,002kg
単価(円/kg)	② 4,691	「尾鷲市内水揚げ実績より H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 33.0	刺網漁業(3トン未満、3~5トン、5~10トン)漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省)H30~R4より
年間便益額(千円/年)	1,551	①×②×③/100/1,000

(i)イセエビの生産量の増加効果(熊野工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 958	・藻場造成(着定基質)整備面積 熊野工区:1.71ha ・生息密度:0.056kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:17,100m ² ×0.056kg/m ² =958kg
単価(円/kg)	② 4,835	「熊野漁協資料(産地市場単価) H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 33.0	刺網漁業(3トン未満、3~5トン、5~10トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省) H30~R4より
年間便益額(千円/年)	1,529	①×②×③/100/1,000

(i)イセエビの生産量の増加効果(紀南工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 1,114	・藻場造成(着定基質)整備面積 紀南工区:1.99ha ・生息密度:0.056kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:19,900m ² ×0.056kg/m ² =1,114kg
単価(円/kg)	② 5,868	「紀南漁協資料(産地市場単価) H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 33.0	刺網漁業(3トン未満、3~5トン、5~10トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省) H30~R4より
年間便益額(千円/年)	2,157	①×②×③/100/1,000

(ii)アワビ類の生産量の増加効果(鳥羽磯部工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 180	・藻場造成(着定基質)整備面積 鳥羽磯部工区:2.0ha ・生息密度:0.009kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:20,000m ² ×0.009kg/m ² =180kg
単価(円/kg)	② 9,383	「鳥羽磯部漁協資料(産地市場単価)より H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 35.3	採介藻漁業(3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省) H30~R4より
年間便益額(千円/年)	596	①×②×③/100/1,000

(ii)アワビ類の生産量の増加効果(甲賀工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 85	・藻場造成(着定基質)整備面積 甲賀工区:0.94ha ・生息密度:0.009kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:9,400m ² ×0.009kg/m ² =84.6kg
単価(円/kg)	② 6,911	「三重外湾漁協資料(産地市場単価)より H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 35.3	採介藻漁業(3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省) H30~R4より
年間便益額(千円/年)	207	①×②×③/100/1,000

(ii)アワビ類の生産量の増加効果(和具工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量(kg)	① 180	・藻場造成(着定基質)整備面積 和具工区:2.0ha ・生息密度:0.009kg/m ² (H28贄湾(贄浦、阿曾浦)属地水揚げ量(三重外湾漁協資料)から算定) ・漁獲量:20,000m ² ×0.009kg/m ² =180kg
単価(円/kg)	② 6,672	「三重外湾漁協資料(産地市場単価)より H30~R4」より算定
漁業付加価値率(所得率)(%)	③ 35.3	採介藻漁業(3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査(農林水産省) H30~R4より
年間便益額(千円/年)	424	①×②×③/100/1,000

(ii) アワビ類の生産量の増加効果 (宿浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	90	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 宿浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.009kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.009kg/m ² = 90kg
単価 (円/k g) ②	6,379	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	203	①×②×③/100/1,000

(ii) アワビ類の生産量の増加効果 (礫浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	90	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 礫浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.009kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.009kg/m ² = 90kg
単価 (円/k g) ②	5,269	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	167	①×②×③/100/1,000

(ii) アワビ類の生産量の増加効果 (奈屋浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	90	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 奈屋浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.009kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.009kg/m ² = 90kg
単価 (円/k g) ②	6,274	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	199	①×②×③/100/1,000

(ii) アワビ類の生産量の増加効果 (古和浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	90	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 古和浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.009kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.009kg/m ² = 90kg
単価 (円/k g) ②	6,274	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	199	①×②×③/100/1,000

(iii) サザエの生産量の増加効果 (鳥羽磯部工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	2,580	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 鳥羽磯部工区 : 2.0ha ・生息密度 : 0.129kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 20,000m ² × 0.129kg/m ² = 2,580kg
単価 (円/k g) ②	765	「鳥羽磯部漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	697	①×②×③/100/1,000

(iii) サザエの生産量の増加効果 (甲賀工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 1,213	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 甲賀工区 : 0.94ha ・生息密度 : 0.129kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 9,400m ² × 0.129kg/m ² = 1,213kg
単価 (円/k g)	② 672	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	288	①×②×③/100/1,000

(iii) サザエの生産量の増加効果 (和具工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 2,580	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 和具工区 : 2.0ha ・生息密度 : 0.129kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 20,000m ² × 0.129kg/m ² = 2,580kg
単価 (円/k g)	② 554	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	505	①×②×③/100/1,000

(iii) サザエの生産量の増加効果 (宿浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 1,290	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 宿浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.129kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.129kg/m ² = 1,290kg
単価 (円/k g)	② 670	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	305	①×②×③/100/1,000

(iii) サザエの生産量の増加効果 (礪浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 1,290	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 礪浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.129kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.129kg/m ² = 1,290kg
単価 (円/k g)	② 606	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	276	①×②×③/100/1,000

(iii) サザエの生産量の増加効果 (奈屋浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 1,290	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 奈屋浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.129kg/m ² (H28贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量(三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.129kg/m ² = 1,290kg
単価 (円/k g)	② 667	「三重外湾漁協資料(産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③ 35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	304	①×②×③/100/1,000

(iii) サザエの生産量の増加効果 (古和浦工区)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	1,290	・藻場造成 (着定基質) 整備面積 古和浦工区 : 1.0ha ・生息密度 : 0.129kg/m ² (H28 贄湾 (贄浦、阿曾浦) 属地水揚げ量 (三重外湾漁協資料) から算定) ・漁獲量 : 10,000m ² × 0.129kg/m ² = 1,290kg
単価 (円/k g) ②	634	「三重外湾漁協資料 (産地市場単価) より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	289	①×②×③/100/1,000

(iv) アサリの生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 干潟)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	7,582	・干潟造成 (着定基質) 整備面積 3.4ha ・生息密度 : 0.223kg/m ² (干潟造成地実施した地点調査結果 平成26年度11月実施) ・漁獲量 : 34,000m ² × 0.223kg/m ² = 7,582kg
単価 (円/k g) ②	738	「漁業産出額より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	1,975	①×②×③/100/1,000

(iv) アサリの生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 作濞)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	4,758	・作濞整備面積 6.1ha ・生息密度 : 0.078kg/m ² (平成30年度伊勢湾アサリ復活プロジェクト推進事業調査業務委託報告書より) ・漁獲量 : 61,000m ² × 0.078kg/m ² = 4,758kg
単価 (円/k g) ②	738	「漁業産出額より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	1,240	①×②×③/100/1,000

(iv) アサリの生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 海底耕耘)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	279	・海底耕耘整備面積 200ha ・4,500kg (増加漁獲量/200ha) × 0.062 (アサリの漁獲割合) = 279kg (平成8年度鈴鹿市の海底耕耘事業結果より算出)
単価 (円/k g) ②	738	「漁業産出額より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	35.3	採介藻漁業 (3トン未満、3~5トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	73	①×②×③/100/1,000

(v) アナゴの生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 海底耕耘)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g) ①	20	・海底耕耘整備面積 200ha ・4,500kg (増加漁獲量/200ha) × 0.0044 (アナゴの漁獲割合) = 20kg (平成8年度鈴鹿市の海底耕耘事業結果より算出)
単価 (円/k g) ②	1,250	「漁業産出額より H30~R4」 より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%) ③	38.3	その他漁業 (3トン未満、3~5トン、5~10トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)	10	①×②×③/100/1,000

(vi) カレイ類の生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 海底耕耘)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	①	84 ・海底耕耘整備面積 200ha ・4,500kg(増加漁獲量/200ha)×0.0187(カレイの漁獲割合) =84kg (平成8年度鈴鹿市の海底耕耘事業結果より算出)
単価 (円/k g)	②	776 「漁業産出額より H30~R4」より算定
漁業付加価値率 (所得率) (%)	③	38.3 その他漁業 (3トン未満、3~5トン、5~10トン) 漁労支出/漁労収入 漁業経営統計調査 (農林水産省) H30~R4より
年間便益額 (千円/年)		25 ①×②×③/100/1,000

(2) 漁業外産業への効果

漁場整備による生産量の増加 (イセエビ、アサリ) によって、産地から消費地市場までの出荷過程の間に流通業者等に帰属する付加価値が発生する。

(i) イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (鳥羽磯部工区)

区分		備考
増加出荷量 (k g)	①	1,120 ①の (i) 鳥羽磯部工区より
出荷先市場価格 (円/k g)	②	7,088 「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格 (円/k g)	③	5,440 ①の (i) 鳥羽磯部工区より
付加価値率 (%)	④	33.0 「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額 (千円/年)		609 ①×(②-③)/1,000×④/100

(i) イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (甲賀工区)

区分		備考
増加出荷量 (k g)	①	526 ①の (i) 甲賀工区より
出荷先市場価格 (円/k g)	②	7,088 「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格 (円/k g)	③	4,842 ①の (i) 甲賀工区より
付加価値率 (%)	④	33.0 「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額 (千円/年)		389 ①×(②-③)/1,000×④/100

(i) イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (和具工区)

区分		備考
増加出荷量 (k g)	①	1,120 ①の (i) 和具工区より
出荷先市場価格 (円/k g)	②	7,088 「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格 (円/k g)	③	4,582 ①の (i) 和具工区より
付加価値率 (%)	④	33.0 「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額 (千円/年)		926 ①×(②-③)/1,000×④/100

(i) イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (宿浦工区)

区分		備考
増加出荷量 (k g)	①	560 ①の (i) 宿浦工区より
出荷先市場価格 (円/k g)	②	7,088 「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格 (円/k g)	③	4,820 ①の (i) 宿浦工区より
付加価値率 (%)	④	33.0 「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額 (千円/年)		419 ①×(②-③)/1,000×④/100

(i) イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (礪浦工区)

区分		備考
増加出荷量 (k g)	①	560 ①の (i) 礪浦工区より
出荷先市場価格 (円/k g)	②	7,088 「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格 (円/k g)	③	3,705 ①の (i) 礪浦工区より
付加価値率 (%)	④	33.0 「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額 (千円/年)		625 ①×(②-③)/1,000×④/100

(i)イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果(奈屋浦工区)

区分			備考
増加出荷量(kg)	①	560	①の(i)奈屋浦工区より
出荷先市場価格(円/kg)	②	7,088	「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格(円/kg)	③	4,393	①の(i)奈屋浦工区より
付加価値率(%)	④	33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額(千円/年)		498	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(i)イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果(古和浦工区)

区分			備考
増加出荷量(kg)	①	560	①の(i)古和浦工区より
出荷先市場価格(円/kg)	②	7,088	「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格(円/kg)	③	5,221	①の(i)古和浦工区より
付加価値率(%)	④	33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額(千円/年)		345	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(i)イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果(紀伊長島工区)

区分			備考
増加出荷量(kg)	①	1,753	①の(i)紀伊長島工区より
出荷先市場価格(円/kg)	②	7,088	「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格(円/kg)	③	5,485	①の(i)紀伊長島工区より
付加価値率(%)	④	33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額(千円/年)		927	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(i)イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果(尾鷲工区)

区分			備考
増加出荷量(kg)	①	1,002	①の(i)尾鷲工区より
出荷先市場価格(円/kg)	②	7,088	「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格(円/kg)	③	4,691	①の(i)尾鷲工区より
付加価値率(%)	④	33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額(千円/年)		792	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(i)イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果(熊野工区)

区分			備考
増加出荷量(kg)	①	958	①の(i)熊野工区より
出荷先市場価格(円/kg)	②	7,088	「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格(円/kg)	③	4,835	①の(i)熊野工区より
付加価値率(%)	④	33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額(千円/年)		712	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(i)イセエビの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果(紀南工区)

区分			備考
増加出荷量(kg)	①	1,114	①の(i)紀南工区より
出荷先市場価格(円/kg)	②	7,088	「東京都中央卸売市場(築地市場)市場月報、R1~R5」より算定
産地市場価格(円/kg)	③	5,868	①の(i)紀南工区より
付加価値率(%)	④	33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額(千円/年)		448	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(ii)アサリの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果(伊勢湾三期工区 干潟)

区分			備考
増加出荷量(kg)	①	7,582	①の(i)伊勢湾三期工区 干潟より
出荷先市場価格(円/kg)	②	869	「三重県地方卸売市場年報、H30~R4」より算定
産地市場価格(円/kg)	③	738	①の(i)伊勢湾三期工区 干潟より
付加価値率(%)	④	33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額(千円/年)		327	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(ii)アサリの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 作濤)

区分		備考
増加出荷量 (k g)	① 4,758	①の(i)伊勢湾三期工区 作濤より
出荷先市場価格 (円/k g)	② 869	「三重県地方卸売市場年報、H30～R4」より算定
産地市場価格 (円/k g)	③ 738	①の(i)伊勢湾三期工区 作濤より
付加価値率 (%)	④ 33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額 (千円/年)	205	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(ii)アサリの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 海底耕耘)

区分		備考
増加出荷量 (k g)	① 279	①の(i)伊勢湾三期工区 海底耕耘より
出荷先市場価格 (円/k g)	② 869	「三重県地方卸売市場年報、H30～R4」より算定
産地市場価格 (円/k g)	③ 738	①の(i)伊勢湾三期工区 海底耕耘より
付加価値率 (%)	④ 33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額 (千円/年)	12	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(iii)カレイの出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 海底耕耘)

区分		備考
増加出荷量 (k g)	① 84	①の(i)伊勢湾三期工区 海底耕耘より
出荷先市場価格 (円/k g)	② 947	「三重県地方卸売市場年報、H30～R4」より算定
産地市場価格 (円/k g)	③ 776	①の(i)伊勢湾三期工区 海底耕耘より
付加価値率 (%)	④ 33.0	「総務省個人企業経済調査(R1-R5)」より算定
年間便益額 (千円/年)	4	$① \times (② - ③) / 1,000 \times ④ / 100$

(3) 自然環境保全・修復効果

藻場（着定基質）、干潟の整備によってアラメ・カジメやホンダワラ、アサリの生産量が増加する。これらにより、水中から窒素化合物や有機物（COD）が除去され、浄化される。また、アラメ・カジメやホンダワラによって水中の二酸化炭素が固定化される。浚渫により有機物（COD）が除去される。

(i) アラメ藻場の増加による水質浄化効果（鳥羽磯部工区）

区分			備考
海藻着生面積（㎡）	①	20,000	着定基質の海藻着生面積：20,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量（乾重量） （kg/㎡/年）	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量（乾重量）：4.0kg/㎡/年 （海洋牧場「マリーナランディング計画」（恒星社厚生閣刊P.293）
乾重量に対する窒素含有率（%）	④	1.3	単位重量あたりのアラメの全窒素重量：0.013TNkg/kg （水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン－参考資料－（R6.6））
窒素の下水道処理費用（円/TNkg・年）	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDP ^テ フィルター/H27GDP ^テ フィルター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン－参考資料－（R6.6）より
年間便益額（千円/年）		24,744	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(i) アラメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果（鳥羽磯部工区）

区分			備考
海藻着生面積（㎡）	①	20,000	着定基質の海藻着生面積：20,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量（乾重量） （kg/㎡/年）	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量（乾重量）：4.0kg/㎡/年 （海洋牧場「マリーナランディング計画」（恒星社厚生閣刊P.293）
乾重量に対する炭素含有率（%）	④	20.0	単位重量あたりのアラメの炭素重量：0.2kg/kg （水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン－参考資料－（R6.6））
炭素の貨幣価値原単位（円/t-C・年）	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDP ^テ フィルター/H18GDP ^テ フィルター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン－参考資料－（R6.6）より
年間便益額（千円/年）		158	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(i) アラメ藻場の増加による水質浄化効果（甲賀工区）

区分			備考
海藻着生面積（㎡）	①	9,400	着定基質の海藻着生面積：9,400㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量（乾重量） （kg/㎡/年）	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量（乾重量）：4.0kg/㎡/年 （海洋牧場「マリーナランディング計画」（恒星社厚生閣刊P.293）
乾重量に対する窒素含有率（%）	④	1.3	単位重量あたりのアラメの全窒素重量：0.013TNkg/kg （水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン－参考資料－（R6.6））
窒素の下水道処理費用（円/TNkg・年）	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDP ^テ フィルター/H27GDP ^テ フィルター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン－参考資料－（R6.6）
年間便益額（千円/年）		11,629	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(i) アラメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果（甲賀工区）

区分			備考
海藻着生面積（㎡）	①	9,400	着定基質の海藻着生面積：9,400㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量（乾重量） （kg/㎡/年）	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量（乾重量）：4.0kg/㎡/年 （海洋牧場「マリーナランディング計画」（恒星社厚生閣刊P.293）
乾重量に対する炭素含有率（%）	④	20.0	単位重量あたりのアラメの炭素重量：0.2kg/kg （水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン－参考資料－（R6.6））
炭素の貨幣価値原単位（円/t-C・年）	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDP ^テ フィルター/H18GDP ^テ フィルター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン－参考資料－（R6.6）より
年間便益額（千円/年）		74	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(i) アラメ藻場の増加による水質浄化効果 (和具工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	20,000	着定基質の海藻着生面積 : 20,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	1.3	単位重量あたりのアラメの全窒素重量 : 0.013TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDPデフレター/H27GDPデフレター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6)
年間便益額 (千円/年)		24,744	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(i) アラメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (和具工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	20,000	着定基質の海藻着生面積 : 20,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	20.0	単位重量あたりのアラメの炭素重量 : 0.2kg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDPデフレター/H18GDPデフレター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6) より
年間便益額 (千円/年)		158	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(i) アラメ藻場の増加による水質浄化効果 (宿浦工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	10,000	着定基質の海藻着生面積 : 10,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	1.3	単位重量あたりのアラメの全窒素重量 : 0.013TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDPデフレター/H27GDPデフレター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6)
年間便益額 (千円/年)		12,372	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(i) アラメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (宿浦工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	10,000	着定基質の海藻着生面積 : 10,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	20.0	単位重量あたりのアラメの炭素重量 : 0.2kg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDPデフレター/H18GDPデフレター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6) より
年間便益額 (千円/年)		79	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(i) アラメ藻場の増加による水質浄化効果 (礮浦工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	10,000	着定基質の海藻着生面積 : 10,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	1.3	単位重量あたりのアラメの全窒素重量 : 0.013TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDPデフレター/H27GDPデフレター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6)
年間便益額 (千円/年)		12,372	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(i) アラメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (礮浦工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	10,000	着定基質の海藻着生面積 : 10,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	20.0	単位重量あたりのアラメの炭素重量 : 0.2kg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDPデフレター/H18GDPデフレター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6) より
年間便益額 (千円/年)		79	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(i) アラメ藻場の増加による水質浄化効果 (奈屋浦工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	10,000	着定基質の海藻着生面積 : 10,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	1.3	単位重量あたりのアラメの全窒素重量 : 0.013TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDPデフレター/H27GDPデフレター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6)
年間便益額 (千円/年)		12,372	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(i) アラメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (奈屋浦工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	10,000	着定基質の海藻着生面積 : 10,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	20.0	単位重量あたりのアラメの炭素重量 : 0.2kg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDPデフレター/H18GDPデフレター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6) より
年間便益額 (千円/年)		79	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(i) アラメ藻場の増加による水質浄化効果 (古和浦工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	10,000	着定基質の海藻着生面積 : 10,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	1.3	単位重量あたりのアラメの全窒素重量 : 0.013TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDPデフレター/H27GDPデフレター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6)
年間便益額 (千円/年)		12,372	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(i) アラメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (古和浦工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	10,000	着定基質の海藻着生面積 : 10,000㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
アラメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	4.0	単位面積あたりアラメ年間生産量 (乾重量) : 4.0kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	20.0	単位重量あたりのアラメの炭素重量 : 0.2kg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDPデフレター/H18GDPデフレター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6) より
年間便益額 (千円/年)		79	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(ii) カジメ藻場の増加による水質浄化効果 (紀伊長島工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	31,300	着定基質の海藻着生面積 : 31,300㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
カジメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	2.8	単位面積あたりカジメ年間生産量 (乾重量) : 2.8kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293 P.401) (「人工リーフに生育したカジメ (Ecklonia cava) の炭素, 窒素及びリン含有量」 (水産総合研究所)))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	2.05	単位重量あたりのカジメの全窒素重量 : 0.0205TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDPデフレター/H27GDPデフレター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6)
年間便益額 (千円/年)		42,745	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(ii) カジメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (紀伊長島工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	31,300	着定基質の海藻着生面積 : 31,300㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
カジメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	2.8	単位面積あたりカジメ年間生産量 (乾重量) : 2.8kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」 (恒星社厚生閣刊P.293))
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	30.0	単位重量あたりのカジメの炭素重量 : 0.3kg/kg (「人工リーフに生育したカジメ (Ecklonia cava) の炭素, 窒素及びリン含有量」 (水産総合研究所)))
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDPデフレター/H18GDPデフレター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R6.6) より
年間便益額 (千円/年)		260	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(iii) ホンダワラ藻場の増加による水質浄化効果 (尾鷲工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	17,900	着定基質の海藻着生面積 : 17,900㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
ホンダワラの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	3.75	単位面積あたりホンダワラ年間生産量 (乾重量) : 3.75kg/㎡/年 (海洋牧場「マリンランディング計画」(恒星社厚生閣刊P.293 P.401) (「人工リーフに生育したカジメ (Ecklonia cava) の炭素, 窒素及びリン含有量」(水産総合研究所)))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	1.3	単位重量あたりのホンダワラの全窒素重量 : 0.013TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDPデフレター/H27GDPデフレター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
年間便益額 (千円/年)		20,761	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(iii) ホンダワラ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (尾鷲工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	17,900	着定基質の海藻着生面積 : 17,900㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
ホンダワラの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	3.75	単位面積あたりホンダワラ年間生産量 (乾重量) : 3.75kg/㎡/年 (海洋牧場「マリンランディング計画」(恒星社厚生閣刊P.293)
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	20.0	単位重量あたりのホンダワラの炭素重量 : 0.2kg/kg 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6) のマコンプを準用
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDPデフレター/H18GDPデフレター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6) より
年間便益額 (千円/年)		132	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(iii) ホンダワラ藻場の増加による水質浄化効果 (熊野工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	17,200	着定基質の海藻着生面積 : 17,200㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
ホンダワラの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	3.75	単位面積あたりホンダワラ年間生産量 (乾重量) : 3.75kg/㎡/年 (海洋牧場「マリンランディング計画」(恒星社厚生閣刊P.293 P.401) (「人工リーフに生育したカジメ (Ecklonia cava) の炭素, 窒素及びリン含有量」(水産総合研究所)))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	1.3	単位重量あたりのホンダワラの全窒素重量 : 0.013TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDPデフレター/H27GDPデフレター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
年間便益額 (千円/年)		19,949	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(iii) ホンダワラ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (熊野工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	17,200	着定基質の海藻着生面積 : 17,200㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
ホンダワラの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	3.75	単位面積あたりホンダワラ年間生産量 (乾重量) : 3.75kg/㎡/年 (海洋牧場「マリンランディング計画」(恒星社厚生閣刊P.293)
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	20.0	単位重量あたりのホンダワラの炭素重量 : 0.2kg/kg 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6) のマコンプを準用
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDPデフレター/H18GDPデフレター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6) より
年間便益額 (千円/年)		127	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(ii) カジメ藻場の増加による水質浄化効果 (紀南工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	19,900	着定基質の海藻着生面積 : 19,900㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
カジメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	2.8	単位面積あたりカジメ年間生産量 (乾重量) : 2.8kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」(恒星社厚生閣刊P.293 P.401) (「人工リーフに生育したカジメ (Ecklonia cava) の炭素, 窒素及びリン含有量」(水産総合研究所)))
乾重量に対する窒素含有率 (%)	④	2.05	単位重量あたりのカジメの全窒素重量 : 0.0205TNkg/kg (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6))
窒素の下水道処理費用 (円/TNkg・年)	⑤	26,436	24,779円/kg・年×R5GDP ^デ フレーター/H27GDP ^デ フレーター=26,436円/kg・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
年間便益額 (千円/年)		27,177	①×②×③×④/100×⑤/1,000

(ii) カジメ藻場の増加による二酸化炭素固定化の効果 (紀南工区)

区分			備考
海藻着生面積 (㎡)	①	19,900	着定基質の海藻着生面積 : 19,900㎡
着定被度	②	0.90	R1 南伊勢町地先 藻場造成モニタリング調査結果より
カジメの年間生産量 (乾重量) (kg/㎡/年)	③	2.8	単位面積あたりカジメ年間生産量 (乾重量) : 2.8kg/㎡/年 (海洋牧場「マリーナランディング計画」(恒星社厚生閣刊P.293)
乾重量に対する炭素含有率 (%)	④	30.0	単位重量あたりのカジメの炭素重量 : 0.3kg/kg (「人工リーフに生育したカジメ (Ecklonia cava) の炭素, 窒素及びリン含有量」(水産総合研究所))
炭素の貨幣価値原単位 (円/t-C・年)	⑤	11,001	10,600円/t・年×R5GDP ^デ フレーター/H18GDP ^デ フレーター=11,001円/t・年 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6) より
年間便益額 (千円/年)		165	①×②×③×④/100×⑤/1,000/1,000

(iv) 浚渫による水質浄化効果 (英虞湾二期工区)

区分			備考
浚渫面積 (㎡)	①	105,000	浚渫面積 : 105,000㎡
COD除去量 (kg/㎡(厚さ:0.25m)/年)	②	0.940	浚渫土砂調査 (H15, H17, H18, H19, H20, H24) より 5.639kg/m ² ÷6年 (浚渫実施期間) =0.940kg/㎡/年 ※浚渫した海底表層 (浮泥状態 : 0.25m) に含有するCOD : 5.639kg/m ²
CODの下水道処理費用 (円/kg)	③	5,033	4,735円/kg・年×R5GDP ^デ フレーター/H27GDP ^デ フレーター=5,033円/kg 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
年間便益額 (千円/年)		496,757	①×②×③/1,000

(v) アサリによる水質浄化効果 (伊勢湾三期工区 干潟)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 7,582	(1) 漁獲可能資源の維持・培養効果 (iv)アサリの生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 干潟) より
COD除去量 (kg/t)	② 29.309	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
CODの下水道処理費用 (円/kg)	③ 5,033	4,735円/kg・年×R5GDP ^テ フレーター/H27GDP ^テ フレーター=5,033円/kg 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
年間便益額 (千円/年)	1,118	①/1,000×②×③/1,000

(v) アサリによる水質浄化効果 (伊勢湾三期工区 作濤)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 4,758	(1) 漁獲可能資源の維持・培養効果 (iv)アサリの生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 作濤) より
COD除去量 (kg/t)	② 29.309	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
CODの下水道処理費用 (円/kg)	③ 5,033	4,735円/kg・年×R5GDP ^テ フレーター/H27GDP ^テ フレーター=5,033円/kg 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
年間便益額 (千円/年)	701	①/1,000×②×③/1,000

(v) アサリによる水質浄化効果 (伊勢湾三期工区 海底耕耘)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (k g)	① 279	(1) 漁獲可能資源の維持・培養効果 (iv)アサリの生産量の増加効果 (伊勢湾三期工区 海底耕耘) より
COD除去量 (kg/t)	② 29.309	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
CODの下水道処理費用 (円/kg)	③ 5,033	4,735円/kg・年×R5GDP ^テ フレーター/H27GDP ^テ フレーター=5,033円/kg 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (R 6. 6)
年間便益額 (千円/年)	41	①/1,000×②×③/1,000